

2023 年度学長裁量経費「教職実践力向上重点研究費」研究

「ジェンダーと多様性」ブックリスト



Contents

| | |
|----------------------------|---|
| *はしがき | 1 |
| *プロジェクト・メンバーからの「おすすめの 1 冊」 | 2 |
| *ブックリスト（ウェブサイトを含む） | 9 |

2024 年 5 月

「ジェンダーと多様性」ブックプロジェクト

はしがき

この冊子は、2023年度に愛知教育大学学長裁量経費を受けたプロジェクトの仕事として作成したものです。プロジェクトでは、「ジェンダーと多様性」にかんすることについて、大学生、附属学校園の幼児、小中学生、高校生が学び、考え、経験する環境整備を行うことを目的として、活動をしてきました。活動の中心は、このテーマにかんする図書を選定して、大学と附属学校園の図書館などに整備することです。

「ジェンダーと多様性」のテーマは近年、教育現場を含め、社会的に大きな関心を集めており、研究面でも著しい進展がみられます。愛知教育大学では2021年度から「教師教養科目」の一つとして「ジェンダー・セクシュアリティと教育」という全学必修科目を開講しており、学生たちの関心も高いテーマです。また学校教育の現場でも、LGBTQsの児童・生徒にどう対するか、制服とジェンダーの問題をどう考えるかなど、日々の教育実践のなかで直面する現代的課題でもあります。

プロジェクトメンバーは、学問分野を超えた教員からなっています。たとえば「性差」の捉え方は学問分野によって異なるのかなど、異分野交流をしながら、広い視野にたってテーマにかんする最新の、あるいは若い人たちに知ってほしい重要な本をリストアップしました。そのうえで、附属学校園でリストを活用し、購入したい本を選んでもらいました。附属学校園でもこのテーマへの関心は高く、リストにない本や教材を選定した学校園もありました。プロジェクトではそれらの本もリストに加え、ジェンダーや性教育にかんするウェブサイトと「おすすめの一冊」コーナーも加えてリストを充実させました。「ジェンダーと多様性」にかんして、網羅的ではなく、わたしたちがおすすめする本のリストではありますが、より広く活用していただきたいとの思いをもって、大学ホームページから公開したいと考えました。

このプロジェクトは「男女共同参画」に資する内容を含んでいることから、愛知教育大学男女共同参画委員会の理解を得て、公開する場を与えていただきました。このリストを、「ジェンダーと多様性」について知りたい方、子ども・青年たちと考えたい先生方、行政の仕事にかかわる方など、多くの方々にご活用いただければ幸いです。

2024年5月

「ジェンダーと多様性」ブックプロジェクト

山根真理(代表 家政教育講座) 高橋靖子(心理講座) 福田泰久(外国語教育講座)
常木静河(理科教育講座) 村松愛梨奈(保健体育講座)

牧野百恵 著 「ジェンダー格差 実証経済学は何を語るか」

中公新書 2023年

本書を手にとると「日本停滞の理由がここにある」との帯に引きつけられます。ここ30年の日本経済の停滞の一因が、人口の約半数を占める女性の子育てや介護等によるキャリアの中断や制限によると主張されています。

タイトルの「ジェンダー格差（ギャップ）」とは、「歴史・文化・社会的に形成される男女の差異」であり、日本のジェンダーギャップ指数は、世界146か国中125位（2023年）と特に低い水準にあります。

著者である牧野氏（アジア経済研究所）は実証経済学の立場より、就業、教育、歴史、結婚、そして出産など様々な事象を取り上げ、ジェンダー格差による影響、解消後の可能性について、多くの国際的調査を盛り込んでいます。

例えば、議員の女性枠の導入が、質の低下よりもむしろ能力の低い男性議員の排除に繋がることや、女性への規範が弱い国ほど高学歴女性が出産することなど、海外の実証研究を提示しています。日本が超少子化に対して様々な施策を講じた結果、育児休業制度が世界レベルとなっているとの指摘には驚きました。一方で、その運用率はまだ低く、政治・経済分野における男性主導の弊害が度々指摘されるなど、今後の課題も残されています。

ジェンダー視点に基づく実証経済学については、昨年2023年にノーベル経済学賞をクラウディア・ゴールドフィン氏が受賞したことにより一層注目を集めました。ゴールドフィン氏の邦訳図書「なぜ男女の賃金に格差があるのか：女性の生き方の経済学」も興味深いですがやや専門的であるため、まず読みやすい本書からお勧めします。



海外に比べると研究は発展途上の日本ですが、近年大規模な調査が増えています。当事者視点と併せて、エビデンスを根拠にしたジェンダー格差の解消により、日本の経済力向上だけでなく、一人ひとりの個性が尊重され可能性に拓かれた社会になってほしいと願います。

（心理講座・高橋 靖子）

諸橋憲一郎 著 「オスとは何で、メスとは何か？」

NHK 出版 2022 年

オスとメスは、しばしば決定されたものとして扱われることが多いですが、この本では、「性」が個体の成長段階や環境の中で、遺伝子（性決定遺伝子）と内分泌物質（性ホルモン）のはたらきによって揺らぎながら存在していることを、わかりやすく紹介しています。本にてでくる性決定のしくみは、哺乳類と魚類、昆虫など動物の分類群ごとに異なっていて、例えば、魚類の一部では後から分泌されるホルモンによって、もともと精巣をもっていた個体が、卵巣をつくるように性転換したり、もともと生殖器をもっていない個体が精巣をつくるようになりたりしており、変更可能で柔軟な性決定システムが集団の維持に寄与しています。人を含む多くの哺乳類では性決定遺伝子によって卵巣と精巣がつけられ、そこから分泌されるホルモンのはたらきによって、成長過程で体の性が大きく変化していきますが、出生前に男性ホルモンに晒されたかどうかで、脳の性が決まるそうです。本の中では、脳の性と体の性がどんなしくみで不一致になったりするののかについても最新の知見が紹介されています。本書を読むと、人だけでなく、動物界を見渡しても「性」は多様で、連続的であることが理解できます。



(理科教育講座・常木 静河)

宮竹貴久 著 「したがるオスと嫌がるメスの生物学」

集英社新書 2018 年

本書には、さまざまな昆虫を材料に、オスとメスの生存戦略を突き詰めてきた昆虫学者が語る生物界での性のおもしろさが詰まっています。ダーウィンにさかのぼって、生き物の世界にみられる、オスとメスの性選択研究のはじまりを紹介し、オスとメスの性的対立の研究誌の変遷を詳細に触れながら、性的対立の謎にせまります。オスやメスが子孫を残すために繰り広げているとんでもない戦略も数多く紹介されています。ハエを材料にした研究では精子に毒を含ませ、自分の子孫を優先的に残すためにメスの寿命を縮めるような戦略をとっている種のこと、著者らの研究材料のひとつである、オオツノコクヌストモドキという甲虫で、大あごを発達させてメスをめぐる戦いに強くなったオスが、実はメスへの求愛行動は下手になってしまうこと、逆にスレンダーな体になってメスへの求愛はうまいが戦いには弱いオスが居ることなど、人間の世界を観察しているような錯覚にもかられる研究例が贅沢に紹介されています。

本書では、昆虫の世界を中心に性的対立を深く掘り下げながら、人間社会における夫婦間での性的対立にも話は発展していきますが、その中で、著者が研究することを心から楽しんで追求している姿勢もとても魅力的な一冊になっています。

(理科教育講座・常木 静河)

弓削尚子 著 「はじめての西洋ジェンダー史
家族史からグローバル・ヒストリーまで」
山川出版社 2021年

早稲田大学で教鞭をとる著者が学部生向けに行っている教養科目の授業を基に編まれた本書は、主に近世から近代にかけての西洋を、ジェンダーの視点から捉え直す歴史学の足跡をたどっています。全7章から構成され、各章は、家族史（第1章）、女性史（第2章）、ジェンダー史（第3章）、身体史（第4章）、男性史（第5章）、「新しい軍事史」（第6章）、グローバル・ヒストリー（第7章）となっています。

みなさんがこれまで学習してきた歴史の教科書には、外交、軍事、経済等の各方面で偉業を成し遂げた歴史上の人物が載っていたはずですが、それでは、歴史というものはそうした偉人たちのみによって形作られるものなのでしょうか。教科書には載ることのない多くの名もなき市井の人たちは、取るに足りない無視しても良い存在なのでしょうか。こうした疑問は、さらに次のような疑問を呼ぶかもしれません。公文書をはじめとする歴史史料と格闘することで歴史叙述を試みる歴史家は、何を基準に教科書の記述を決めるのでしょうか。そして、史料に基づいて「客観的」に史実を書いているとされる歴史家の筆致に、そもそもその歴史家が陥っているバイアスが影響することはないのででしょうか。もっと言えば、男性の歴史家と女性の歴史家で歴史叙述に違いはないのでしょうか。



20世紀に投げ掛けられたこうした一連の問いは、1960年代の市民運動で盛り上がりを見せたフェミニズム運動を一部先取りしながら、歴史家に歴史叙述の再考を迫りました。著者も述べるように、ジェンダー史研究とは、近代歴史学が周縁に追いやったテーマや対象をすくい取り、「男の歴史」(his story)であった歴史(history)を、女性史家の視点から書き換えようとする営みです。

こうした従来 of 歴史学に潜む死角に投錨を打つ女性史家の営みが重要であることは論を俟ちません。と同時にわたしたちがつねに意識すべきなのは、そうした女性史家の営みが生み出す死角にも自覚的であることだと著者は言います。まさに、歴史学の泰斗 E. H. カークが指摘したように、現在と過去の不断の対話こそが歴史を形作るのです。

(外国語教育講座 福田 泰久)

今井伸ほか著 「自分を生きるための〈性〉のこと
性と生殖に関する健康と権利編」

前川直哉ほか著 「自分を生きるための〈性〉のこと
性と人間関係編」

少年写真新聞社 2023年

みなさんは、「性」という言葉からどのような言葉をイメージしますか？

学校の性教育で習ってきた「男性・女性」や「生殖」「性交」以外に、「性的指向」や「性自認」などの性の多様性に関する言葉や、性的行動、性暴力などの言葉が浮かんだ人はいますでしょうか。

近年、生殖に関わる身体のしくみや変化のこと以外に、性の多様性や性と人間関係の関わりなどが含まれる「包括的性教育」が求められるようになってきました。みなさんが受けてきた性教育では、上記の内容は十分に網羅されていなかったかと思えます。これらの内容は自分や他人の身体や心を大切にするために必要な知識になります。未だ日本では、「性」はどちらかというところ「恥ずかしいこと」とか「隠したほうがよいこと」などという風潮がみられますが、そんなことはありません。

ここでは、必要な知識が詰まった本として「自分を生きるための〈性〉のこと」を紹介します。本書はシリーズ本で、「性と生殖に関する健康と権利編」「性と人間関係編」の2冊があります。



教員になる人もならない人も、ぜひ知ってほしい「性の知識」が詰まった本です。

前者は、「思春期のからだの変化」をテーマに自分のからだや多様な性を知り、月経や射精の仕組みからケア、婦人科や泌尿器科についても知ることができます。性的同意や相談機関の紹介、妊娠の仕組みから産む選択/産まない選択、不妊治療なども学べます。また、性感染症は「いけない病気」でも「恥ずかしい病気」でもないことを示し、必要な予防や検査・治療について詳しく説明しています。

後者は、自分を知るための「性」への理解や、「性」を多面的にみる視点、家族・友人関係・恋愛など人間関係と「性」、そして助けや援助を求めるためのスキルが示されています。また、社会が「性」に与える影響や、変化しつつある社会の中の「性」が描かれており、ジェンダーバイアスを視点に学校の変化も書かれています。

子どもたちにも読んでほしい、そして読みやすい2冊です。

ぜひみなさん、本書を手にとって読んでみませんか。（保健体育講座・村松愛梨奈）

及川夕子著 はたらく細胞 Lady

～10代女性が知っておきたい「性」の新知識～

講談社 2022年

みなさん、大人気漫画の「はたらく細胞」を知っていますか？

本書は女性の身体の中を舞台に、月経との付き合い方を教えてくれたり、10代ならではの「モヤモヤする体や心の悩み」を解決してくれる1冊になっています。

例えば、「わき毛が毛深いのがイヤ！処理してもいい？」とか「もうすぐ試験があるんだけど生理と重ならないか心配」、「生理痛、なんとかして！」、「生理中の臭い、みんなに気づかれていない？」などの身体のことや、「告白されたけど好きなのかどうかわからない」、「友だちからレズビアンだと告白されました。どうしよう？」、「好きな人からキスしたいと言われました」、「妊娠したかも…」などに対して、Q & A形式で答えてくれます。イラストもあるので読みやすく、気になるところだけピックアップして読むこともできます。

近年注目されている「包括的性教育」について学びたいけど、読みやすい本がいいなという方は、まずはじめにこの1冊を手にとってみてください。

(保健体育講座・村松 愛梨奈)



井上輝子著 日本フェミニズム——150年の人と思想

有斐閣 2021年

本書は、日本の「女性学」の創始者のひとりである井上輝子さんが、日本のフェミニズムの歩みを、明治期以降の150年間にわたり、その時代的背景とともに、日本のフェミニズムを担った人びとの、人と思想について記述することを企図して、書かれた本です。

「フェミニズム」「フェミニスト」というと、どのようなことを思い浮かべるでしょうか？ 最近では、インターネットのなかの「言葉」の影響もあると思いますが、「男性を敵視し、女権を拡張しようとする人や運動」の意味で受けとめられることが、時々あります。フェミニズムは歴史的にみれば、欧米諸国で18世紀末にはじまり、19世紀末から20世紀初頭に活発化した「第一波フェミニズム」と、1960年代半ばにアメリカではじまり、当時の先進産業諸国でひろがった「第二波フェミニズム」と整理されます。第一波フェミニズムは、自由と平等を基本的人権として与えられたのは財産を有する成人男性であり、女性は「市民」として位置づけられていないことを問題視しました。第二波フェミニズムは、「女らしさ」の神話や性別役割分業、セクシュアリティ、女性に対する暴力の問題など、女性たちが日常生活のなかで感じる「生きがたさ」や違和感を出発点として、社会のあり方と自分自身を問う思想と行動だった、と思います。

井上さんは1960年に大学に入学、大学院に進学され、1970年代初頭に日本の第二波フェミニズムである「ウーマン・リブ」に参加、大学教員になられた1973年のアメリカ旅行を契機にWomen's Studiesに出会い、それに「女性学」という訳語をあて、日本の女性学を創始されました。日本のフェミニズム第二波の中に身をおきながら、フェミニズムの学問版である「女性学」をたちあげられた井上さんの多くの仕事から、「遅れてきた世代」のひとりとしてわたしも、多くを学ばせていただきました。

本書は井上さんの最後の著作です。当初の計画通りに第三章以下を書き続けることができなくなり、Part2は、亡くなる2週間前に病院のベッドで書かれた「断章—



2021年夏」を冒頭に、井上さんが生涯大切にしていたテーマに沿って、論文、エッセイを中心に構成されています。井上さんが当初に書こうとされた1970年代以降の「日本のフェミニズム」は未完となりましたが、井上さんご自身の「時代と人と思想」も含め、読者に「いま、フェミニズムから何を受けとめるか」を考える課題を投げかけていると思います。若い方にもぜひ、手に取ってもらいたい一冊です。

(家政教育講座・山根 真理)

「ジェンダーと多様性」ブックリスト(おすすめウェブサイトを含む)

*テーマごとにまとめていますので重複があります。関心に応じてご活用ください。

| 図書 | | | |
|-------------------------------------|--|------------|------|
| 著者 | タイトル | 出版社 | 出版年 |
| 学校現場でジェンダー&セクシュアリティを考えるために | | | |
| セクシュアリティ | | | |
| 伊藤 華英 | これからの人生と生理を考える | 山川出版社 | 2023 |
| 今井伸 | 射精道 | 光文社 | 2022 |
| 今井伸／高橋幸子 | 自分を生きるための(性)のこと: 性と生殖に関する健康と権利(SRHR)編 | 少年写真新聞社 | 2023 |
| 上田惣子 | 生理CAMP みんなで聞く・知る・語る! | 集英社 | 2021 |
| NHK「ラジオ保健室」制作班 | ラジオ保健室 10代の性 悩み相談BOOK | リトル・モア | 2022 |
| 及川 夕子／高橋 幸子 他 | はたらく細胞LADY 10代女性が知っておきたい「性」の新知識 | 講談社 | 2022 |
| 櫻井裕子 | 10代のための性の世界の歩き方 | 時事通信社 | 2023 |
| シオリヌ(大貫詩織) | CHOICE 自分で選びとるための「性」の知識 | イースト・プレス | 2020 |
| シオリヌ(大貫詩織) | こどもジェンダー | ワニブックス | 2021 |
| スタインズ, Y./カン,M. レイサム,J. 絵 北原みのり訳 | 10代のためのエンパワメントBOOKシリーズ1 こんにちは! 同意 誰かと親密になる前に知っておきたい大切なこと | 集英社 | 2022 |
| スタインズ, Y./カン,M. レイサム,J. 絵 北原みのり訳 | 10代のためのエンパワメントBOOKシリーズ2 こんにちは! 生理 生理と仲よくなるために大切なこと | 集英社 | 2022 |
| ストックン, D.E. 池田真紀子 訳 | 世界中の女子が読んだ! からだと性の教科書 | NHK出版 | 2019 |
| セイシル製作チーム | セイシル 知ろう、話そう、性のモヤモヤ 10代のための性教育パイプ | KADOKAWA | 2022 |
| 博多大吉／高尾 美穂 | ぼくたちが 知っておきたい生理のこと | 辰巳出版 | 2022 |
| フクチマミ／村瀬幸浩 | おうち性教育はじめます | KADOKAWA | 2020 |
| 宮原由紀 | 子どもと性の話、はじめませんか? | CCCメディアハウス | 2021 |
| 八田 真理子 | 思春期女子のからだと心 Q&A 資料ダウンロード付き | 労働教育センター | 2020 |
| 渡辺大輔 | 性の多様性ってなんだろう | 平凡社 | 2018 |
| 制服 | | | |
| 小林哲夫 | 学校制服とは何か—その歴史と思想 | 朝日新聞出版 | 2020 |
| 難波知子 | 近代日本学校制服図録 | 創元社 | 2016 |
| 家族 | | | |
| 白井千晶 | フォスター—里親家庭・養子縁組家庭・ファミリーホームと社会的養育 | 生活書院 | 2019 |
| 野沢慎司 | ステップファミリーのきほんをまなぶ—離婚・再婚と子どもたち | 金剛出版 | 2018 |
| 信田さよ子 | 共依存[新装版](朝日文庫) | 朝日新聞出版 | 2023 |
| 信田さよ子 | アダルト・チルドレン:自己責任の罫を抜けだし、私の人生を取り戻す(ヒューマンフィールドワークス) | 学芸みらい社 | 2021 |
| 子どもたちと読み解いてみよう | | | |
| 幼稚園 | | | |
| えんみさきこ | だいじ だいじ どーこだ? | オーイズミ | 2021 |
| シルヴァーバーグ,C. スミス,F.絵 たちあすか訳 | あかちゃんはどうやってできるの? | 岩波書店 | 2023 |
| 鈴木まもる | てをつなぐ | 金の星社 | 2017 |
| 竹山美奈子 | すずちゃんののうみそ | 岩崎書店 | 2018 |
| 藤田由美子 | 保育の中のジェンダー | チャイルド本社 | 2023 |
| リカーズ,L. チェンバレン,M.絵 明橋大二訳 | ピンクになっちゃった! | 一万年堂出版 | 2013 |
| 小学校 | | | |
| ウォルトン,J. マクファーソン,D.絵 かわむらあきこ訳 | くまのトーマスはおんなのこ—ジェンダーとゆうじょうについてのやさしいおはなし | ポット出版プラス | 2016 |
| 谷口真由美 | きみの人生はきみのもの 子どもが知っておきたい「権利」の話 | NHK出版 | 2023 |
| 河野哲也 | 哲学のメガネで世界を見ると まんがで哲学(まんが) | ポプラ社 | 2023 |
| きむらゆういち | うちのババはウルトライックメン | 大日本印刷株式会社 | 2014 |
| シス,P. 松田素子訳 | マドレンカ サッカーだいすき! | BL出版 | 2012 |

| | | | |
|---------------------------------|--|-----------|------|
| ダーレ,G. ニーフース,S.絵 大島かおり/青木順子訳 | パパと怒り鬼—話してごらん、だれかに— | ひさかたチャイルド | 2011 |
| ホール,M. 上田勢子訳 他 | 新みんなで考えようLGBT 全3巻 | 子どもの未来社 | 2017 |
| ホフマン,M. アスキス,R.絵 すぎもとえみ訳 | いろいろななかぞくのほん | 少年写真新聞社 | 2018 |
| リチャードソン,J./パーネル, P. 尾辻かな子・前田和男訳 | タンタンタンゴはパパふたり | ポット出版 | 2008 |
| ハーン,L./ナイランド,S. ゲルマー,A.絵 眞野豊訳 | 王さまと王さま | ポット出版 | 2015 |
| 中学校 | | | |
| 宮島未奈 | 成瀬は天下を取りにい | 新潮社 | 2023 |
| 太田 啓子 | これからの男の子たちへ:「男らしさ」から自由になるためのレッスン | 大月書店 | 2020 |
| やまじえびね | 女の子のいる場所は | 角川書店 | 2022 |
| 奥山景布子 | フェミニスト紫式部の生活と意見 | 集英社 | 2023 |
| ストルク,A. スペー,G.絵 きただいえりこ訳 | わたしも水着をきてみたい | さ・え・ら書房 | 2017 |
| レヴィ,J. モンロー,C.絵 もん訳 | パパのカノジョは | 岩崎書店 | 2002 |
| 渡辺大輔 | マンガワークシートで学ぶ多様な性と生 | 子どもの未来社 | 2019 |
| 特別支援学校 | | | |
| 小栗正幸/國分聡子 | 性の教育ユニバーサルデザイン | 金剛出版 | 2021 |
| 小笠原和美 | おしえて!くもくん プライベートゾーンってなあに? | 東山書房 | 2021 |
| オトナも一緒に(絵本など) | | | |
| たてのひろし/なかの真実 | ねことことり | 世界文化社 | 2022 |
| パール,T. つだゆうこ訳 | ええやんそのまま | 解放出版社 | 2008 |
| 学部生、大学院生、学校の先生方の基礎教養のために | | | |
| テキスト・入門書 | | | |
| 青野篤子 編著 | アクティブラーニングで学ぶジェンダー:現代を生きるための12の実践 | ミネルヴァ書房 | 2016 |
| アルツァ,S.他 恵愛由訳 | 99%のためのフェミニズム宣言 | 人文書院 | 2020 |
| 飯田貴子/熊安貴美江/來田享子編 | よくわかるスポーツとジェンダー | ミネルヴァ書房 | 2018 |
| 伊藤公雄/樹村みのり/國信潤子 | 女性学・男性学:ジェンダー論入門 | 有斐閣 | 2019 |
| 岩上真珠 | ライフコースとジェンダーで読む家族(第3版) | 有斐閣 | 2013 |
| 上野千鶴子 | 最後の講義完全版 これからの時代を生きるあなたへ | 主婦の友社 | 2022 |
| 上野千鶴子 | 学びのきほん フェミニズムがひらいた道 | NHK出版 | 2022 |
| 及川 夕子/高橋 幸子 他 | はたらく細胞LADY 10代女性が知っておきたい「性」の新知識 | 講談社 | 2022 |
| 風間孝/加治宏基/金敬黙著 | 教養としてのジェンダーと平和 | 法律文化社 | 2016 |
| 風間孝/今野泰三編著 | 教養としてのジェンダーと平和Ⅱ | 法律文化社 | 2022 |
| 加藤秀一 | はじめてのジェンダー論 | 有斐閣 | 2017 |
| 加藤秀一/石田仁/海老原暁子 | 図解雑学ジェンダー | ナツメ社 | 2005 |
| 神谷悠一 | LGBTとハラスメント | 集英社 | 2020 |
| 木村涼子/伊田久美子/熊安貴美江編 | よくわかるジェンダー・スタディーズ—人文社会科学から自然科学まで | ミネルヴァ書房 | 2013 |
| キャメロン,D. 向井和美訳 | はじめてのフェミニズム | 筑摩書房 | 2023 |
| 権仁淑 | 母から娘へ:ジェンダーの話をしよう | 梨の木舎 | 1980 |
| 久留島典子/長野ひろ子/長志珠絵 | 歴史を読み替えるジェンダーから見た日本史 | 大月書店 | 2015 |
| 佐藤文香 監修 一橋大学社会学部佐藤文香ゼミ生一同 著 | ジェンダーについて大学生が真剣に考えてみた—あなたがあなたらしくいられるための29問 | 明石書店 | 2019 |
| 清水晶子 | フェミニズムってなんですか? | 文藝春秋 | 2022 |
| 治部れんげ | ジェンダーで見るヒットドラマ—韓国、アメリカ、欧州、日本 | 光文社 | 2021 |
| 周司あきら/高井ゆと里 | トランスジェンダー入門 | 集英社 | 2023 |
| 新聞労連ジェンダー表現ガイドブック編集チーム | 失敗しないためのジェンダー表現ガイドブック | 小学館 | 2022 |
| セイシル製作チーム | セイシル 知ろう、話そう、性のモヤモヤ 10代のための性教育バイブル | KADOKAWA | 2022 |
| 瀬地山角 | 炎上CMでよみとくジェンダー論 | 光文社 | 2020 |
| ストックケン, D.E. 池田真紀子 訳 | 世界中の女子が読んだ! からだと性の教科書 | NHK出版 | 2019 |
| 天童睦子 | ゼロからはじめる女性学 | 世界思想社 | 2023 |

| | | | |
|--|--|-----------|------|
| 堀内かおる編 | 生活をデザインする家庭科教育 | 世界思想社 | 2020 |
| 三成美保／姫岡とし子／小浜正子編 | 歴史を読み替えるジェンダーから見た世界史 | 大月書店 | 2014 |
| 弓削尚子 | はじめての西洋ジェンダー史 | 山川出版社 | 2021 |
| 全集・選集 | | | |
| [編集委員]天野正子／伊藤公雄／伊藤るり／井上輝子／上野千鶴子／江原由美子／大沢真理／加納実紀代 [編集協力]齋藤美奈子 | 新編 日本のフェミニズム 1 リブとフェミニズム | 岩波書店 | 2009 |
| | 新編 日本のフェミニズム 2 フェミニズム理論 | 岩波書店 | 2009 |
| | 新編 日本のフェミニズム 3 性役割 | 岩波書店 | 2009 |
| | 新編 日本のフェミニズム 4 権力と労働 | 岩波書店 | 2009 |
| | 新編 日本のフェミニズム 5 母性 | 岩波書店 | 2009 |
| | 新編 日本のフェミニズム 6 セクシュアリティ | 岩波書店 | 2009 |
| | 新編 日本のフェミニズム 7 表現とメディア | 岩波書店 | 2009 |
| | 新編 日本のフェミニズム 8 ジェンダーと教育 | 岩波書店 | 2009 |
| | 新編 日本のフェミニズム 9 グローバリゼーション | 岩波書店 | 2011 |
| | 新編 日本のフェミニズム 10 女性史・ジェンダー史 | 岩波書店 | 2009 |
| | 新編 日本のフェミニズム 11 フェミニズム文学批評 | 岩波書店 | 2009 |
| | 新編 日本のフェミニズム 12 男性学 | 岩波書店 | 2009 |
| 菊地夏野／堀江有里／飯野由里子 編著 | クエア・スタディーズをひらく1 アイデンティティ,コミュニティ,スペース | 晃洋書房 | 2019 |
| | クエア・スタディーズをひらく2 結婚,家族,労働 | 晃洋書房 | 2022 |
| | クエア／スタディーズをひらく3 健康／病,障害,身体 | 晃洋書房 | 2023 |
| 小浜正子／鈴木典子編 | 「ひと」から問うジェンダーの世界史 第1巻「ひと」とはだれか?—身体・セクシュアリティ・暴力 | 大阪大学出版会 | 2023 |
| 姫岡とし子／久留島典子／小野仁美編 | 「ひと」から問うジェンダーの世界史 第2巻「社会」はどう作られるか?—家族・制度・文化 | 大阪大学出版会 | 2023 |
| 井野瀬久美恵／粟屋利江／長志珠絵編 | 「ひと」から問うジェンダーの世界史 第3巻「世界」をどう問うか?—地域・紛争・科学 | 大阪大学出版会 | 2023 |
| ジェンダーの「これまで／これから」を考えるための名著／基本書 | | | |
| 浅野富美枝／天童睦子編 | 災害女性学をつくる | 生活思想社 | 2021 |
| アディーチェ,C.N. くぼたのぞみ訳 | 男も女もみんなフェミニストでなきゃ | 河出書房新社 | 2017 |
| 伊田広行 | シングル単位の恋愛・家族論 | 世界思想社 | 1998 |
| 伊田広行 | シングル単位の社会論 | 世界思想社 | 1998 |
| 伊藤公雄／多賀太／大東貢生／大山治彦 | 男性危機?:国際社会の男性政策に学ぶ | 甲洋書房 | 2022 |
| 井上輝子 | 新・女性学への招待—変わる／変わらない女の一生 | 有斐閣 | 2011 |
| 井上輝子 | 日本のフェミニズム—150年の人と思想 | 有斐閣 | 2021 |
| 上野千鶴子 | 家父長制と資本制:マルクス主義フェミニズムの地平 | 岩波書店 | 1990 |
| 上野千鶴子 | 差異の政治学 | 岩波書店 | 2002 |
| 上野千鶴子 | ケアの社会学:当事者主権の福祉社会へ | 太田出版 | 2011 |
| ウルストンクラフト,M. 白井堯子 | 女性の権利の擁護—政治および道徳問題の批判をこめて | 未来社 | 1980 |
| 江原由美子 | ジェンダー秩序 | 勁草書房 | 2001 |
| 江原由美子 | 持続するフェミニズムのために:グローバリゼーションと「第二の近代」を生き抜く理論へ | 有斐閣 | 2022 |
| 菊地夏野 | 日本のポストフェミニズム:「女子力」とネオリベリズム | 大月書店 | 2019 |
| 木村涼子 | 学校文化とジェンダー | 筑摩書房 | 1999 |
| ギリガン,C. 川本隆史／山辺恵理子／米典子訳 | もうひとつの声で:心理学の理論とケアの倫理 | 風行社 | 2022 |
| サージェント,L.編 田中かず子訳 | マルクス主義とフェミニズムの不幸な結婚 | 勁草書房 | 1991 |
| ザドガー,M./ザドガー,D. 川合あき子訳 | 「女の子」は学校でつくられる | 時事通信社 | 1996 |
| ジェフリーズ,S. GCジャパン翻訳グループ | 美とミソジニー—美容行為の政治学 | 慶応義塾大学出版会 | 2022 |
| スコット,J.W. 荻野美穂訳 | ジェンダーと歴史学(平凡社ライブラリー 930) | 平凡社 | 2022 |
| 多賀太 | 男子問題の時代?—錯綜するジェンダー教育のポリティックス | 学文社 | 2016 |
| 多賀太 | ジェンダーで読み解く 男性の働き方・暮らし方—ワーク・ライフ・バランスと持続可能な社会の発展のために | 時事通信出版局 | 2022 |
| 田中美津 | いのちの女たちへ—とり乱しウーマンリブ論 | 河出文庫 | 1992 |

| | | | |
|---|--|-----------|------|
| 田中美津 | かけがえのない、大したことのない私 | インパクト出版会 | 2005 |
| トリン,T.M. 竹村和子訳 | 女性・ネイティブ・他者—ポストコロニアリズムとフェミニズム | 岩波書店 | 1995 |
| バトラー,J. 竹村和子訳 | ジェンダー・トラブル—フェミニズムとアイデンティティの攪乱 | 青土社 | 1999 |
| バタンテール,E. 鈴木晶訳 | 母性という神話 | 筑摩書房 | 1991 |
| 藤井和佐 | 農村女性の女性学—地域づくりの男女共同参画 | 昭和堂 | 2011 |
| フーコー, M. 渡辺守章訳 | 性の歴史 I 知への意思 | 新曜社 | 1986 |
| フーコー, M. 田村俣訳 | 性の歴史 II 快楽の活用 | 新曜社 | 1986 |
| フーコー, M. 田村俣訳 | 性の歴史 III 自己への配慮 | 新曜社 | 1987 |
| フックス,B. 堀田碧訳 | フェミニズムはみんなのもの:情熱の政治学 | エトセトラブックス | 2020 |
| フックス,B. 大類久恵監訳 棚沢圭子訳 | アメリカ黒人女性フェミニズム—ベル・フックスの「私は女ではないの?」 | 明石書店 | 2010 |
| ブラン,O. 辻村みよ子監訳 | オランプ・ドゥ・グージュ—フランス革命と女性の権利宣言 | 信山社 | 2010 |
| フリーダン,B. 三浦富美子訳 | 新しい女性の創造(改訂版) | 大和書房 | 2004 |
| ポーヴォワール,S.D.井上たか子・木村信子監訳 | 決定版 第二の性< I > 事実と神話 | 新潮社 | 1997 |
| ポーヴォワール,S.D. 中嶋公子・加藤康子監訳 | 決定版 第二の性< II > 体験 | 新潮社 | 1997 |
| 慧真 徐勝・金京子訳 | ナムムの家のホルモンたち | 八文書院 | 1998 |
| ベラ,D. 中野知津訳 | 娘の学校—性差の社会的再生産 | 藤原書店 | 1993 |
| 三木草子/佐伯洋子/溝口明代編 | 資料 日本ウーマン・リブ史 I | 松香堂書店 | 1992 |
| | 資料 日本ウーマン・リブ史 II | 松香堂書店 | 1994 |
| | 資料 日本ウーマン・リブ史 III | 松香堂書店 | 1995 |
| ミース,M./フォン・ヴェールホフ,C./ベンホルト・トムゼン,V. 古田睦美・義本裕子訳 | 世界システムと女性 | 藤原書店 | 1995 |
| モーニハンティ,C.T. 堀田碧監訳 | 境界なきフェミニズム | 法政大学出版会 | 2012 |
| 村田晶子/弓削尚子編著 | なぜジェンダー教育を大学でおこなうのか—日本と海外の比較から考える | 青弓社 | 2017 |
| 歴史を拓く | | | |
| ギンズバーグ,R.B./タイラー,A.L. 大林啓吾他訳 | アメリカを変えた女性 | 晶文社 | 2022 |
| 性と生 人生いろいろ考えよう | | | |
| セクシュアリティ・リプロダクション | | | |
| 浅井春夫 | 包括的性教育:人種、性の多様性、ジェンダー平等を柱に | 大月書店 | 2020 |
| 浅井春夫/良香織/敦田敦子編著 | 性教育はどうして必要なんだろう? | 大月書店 | 2018 |
| 伊藤華英 | これからの人生と生理を考える | 山川出版社 | 2023 |
| 今井伸 | 射精道 | 光文社 | 2022 |
| 今井伸/高橋幸子 | 自分を生きるための〈性〉のこと:性と生殖に関する健康と権利(SRHR)編 | 少年写真新聞社 | 2023 |
| 上田惣子 | 生理CAMP みんなで聞く・知る・語る! | 集英社 | 2021 |
| NHK「ラジオ保健室」制作班 | ラジオ保健室 10代の性 悩み相談BOOK | リトル・モア | 2022 |
| 小浜正子/松岡悦子 | アジアの出産と家族計画 | 勉誠出版 | 2014 |
| 及川夕子/高橋幸子 他 | はたらく細胞LADY 10代女性が知っておきたい「性」の新知識 | 講談社 | 2022 |
| 櫻井裕子 | 10代のための性の世界の歩き方 | 時事通信社 | 2023 |
| 白井千晶編著 | 産み育てと助産の歴史—近代化の200年をふり返る | 医学書院 | 2016 |
| 白井千晶編著 | アジアの出産とテクノロジー—リプロダクションの最前線 | 勉誠出版 | 2022 |
| シオリヌ(大貫詩織) | CHOICE 自分で選びとるための「性」の知識 | イースト/プレス | 2020 |
| シオリヌ(大貫詩織) | こどもジェンダー | ワニブックス | 2021 |
| 杉田映理/新本万里子 | 月経の人類学—女子生徒の「生理」と開発支援 | 世界思想社 | 2022 |
| セイシル製作チーム | セイシル 知ろう、話そう、性のモヤモヤ 10代のための性教育バイブル | KADOKAWA | 2022 |
| スタインズ, Y./カン,M. レイサム,J. 絵北原みのり訳 | 10代のためのエンパワメントBOOKシリーズ1 こんにちは! 同意 誰かと親密になる前に知っておきたい大切なこと | 集英社 | 2022 |
| スタインズ, Y./カン,M. レイサム,J. 絵北原みのり訳 | 10代のためのエンパワメントBOOKシリーズ2 こんにちは! 生理 生理と仲よくなるために大切なこと | 集英社 | 2022 |
| ストックケン, D.E. 池田真紀子 訳 | 世界中の女子が読んだ! からだと性の教科書 | NHK出版 | 2019 |
| ダール,E.S. 池田真紀子訳 | 世界中の女子が読んだ! からだと性の教科書 | NHK出版 | 2019 |
| 博多大吉/高尾美穂 | ぼくたちが 知っておきたい生理のこと | 辰巳出版 | 2022 |
| 八田真理子 | 思春期女子のからだと心 Q&A 資料ダウンロード付き | 労働教育センター | 2020 |

| | | | |
|------------------------|--|------------|---------------|
| 堀川修平 | 気づく 立ち上がる 育てる | エイデル研究所 | 2022 |
| 堀川修平 | 「日本に性教育はなかった」と言う前に | 柏書房 | 2023 |
| 博多大吉／高尾 美穂 | ぼくたちが 知っておきたい生理のこと | 辰巳出版 | 2022 |
| フクチマミ／村瀬幸浩 | おうち性教育はじめます | KADOKAWA | 2020 |
| 宮原由紀 | 子どもと性の話、はじめませんか？ | CCCメディアハウス | 2021 |
| 八田真理子 | 思春期女子のからだと心 Q&A 資料ダウンロード付き | 労働教育センター | 2020 |
| ユネスコ編 浅井春夫 他訳 | 国際セクシュアリティ教育ガイダンスー教育・福祉・医療・保健現場で生かすために | 明石書店 | 2017 |
| ユネスコ編 浅井春夫 他訳 | 国際セクシュアリティ教育ガイダンスー科学的根拠に基づいたアプローチ | 明石書店 | 2020 |
| 性の多様性 | | | |
| 石田仁／田畑章明 | 性同一性障害ージェンダー・医療・特例法 | 御茶の水書房 | 2008 |
| 神名龍子 | トランスジェンダーの原理：社会と共に「自分」を生きるために | ポット出版プラス | 2022 |
| 風間孝／川口和也 | 同性愛と異性愛 | 岩波新書 | 2010 |
| セジウィック,E.K. 外岡尚美訳 | クローゼットの認識論ーセクシュアリティの20世紀 | 青土社 | 1999 |
| ソンドラ,J.D. 上田勢子訳 | 見えない性的指向 アセクシュアルのすべてー誰にも性的魅力を感じない私たちについて | 明石書店 | 2019 |
| 橋本秀雄 | 性分化障害の子どもたちー医療空白地帯の現状 | 青弓社 | 2008 |
| フェイ,S. 高井ゆと里訳 | トランスジェンダー問題：議論は正義のために | 明石書店 | 2022 |
| 深海菊絵 | ポリアモリーー複数の愛を生きる | 平凡社新書 | 2015 |
| 毎日新聞「境界を生きる」取材班 | 境界を生きるー性と生のはざままで | 毎日新聞出版 | 2013 |
| リッチ,A. 大島かおり訳 | 血・パン・詩。ーアドリエンス・リッチ女性論 | 晶文社 | 1989 |
| 渡辺大輔 | 性の多様性ってなんだろう | 平凡社 | 2018 |
| 子どもの成長とジェンダー | | | |
| 斎藤美奈子 | 紅一点論ーアニメ・特撮・伝記のヒロイン像 | 筑摩書房 | 1998 |
| 斎藤環 | 戦闘美少女の精神分析 | ちくま文庫 | 2006 |
| 高井昌史 | 女性マネージャーの誕生とメディアースポーツ文化におけるジェンダー形成 | ミネルヴァ書房 | 2005 |
| 藤田由美子 | 子どものジェンダー構築ー幼稚園・保育園のエスノグラフィ | ハーベスト社 | 2015 |
| 堀越英美 | 女の子は本当にピンクが好きなのか | 河出文庫 | 2019 |
| 若桑みどり | お姫様とジェンダーーアニメで学ぶ男と女のジェンダー学入門 | ちくま新書 | 2003 |
| 家族のこと | | | |
| 岩間暁子／大和礼子／田間泰子 | 問いからはじめる家族社会学ー多様化する家族の包摂に向けて | 有斐閣 | 2015 |
| 落合恵美子 | 21世紀家族へ：家族の戦後体制の見かた・超えかた【第4版】 | 有斐閣 | 2019 |
| 二宮周平 | 18歳から考える家族と法 | 法律文化社 | 2018 |
| 二宮周平 | 多様化する家族と法Ⅰー個人の尊重から考えるー | 朝陽会 | 2019 |
| 二宮周平 | 多様化する家族と法Ⅱー子どもの育ちを支える・家族を支えるー | 朝陽会 | 2019 |
| 目黒依子 | 家族社会学のパラダイム | 勁草書房 | 2007 |
| ハラユキ | ほしいのは「つかれない家族」ーワンオペ家事&育児に絶望した私が見つけた家族のシアワセ | 講談社 | 2020 |
| 吉田秋生 | 海街diary 1~9 | 小学館 | 2007~ 2018 |
| ライフとワーク | | | |
| 朝倉むつこ | 新しい労働世界とジェンダー平等 | かもがわ出版 | 2022 |
| 乙部由子 | 「労働」から学ぶジェンダー論：Society5.0でのライフスタイルを考える | ミネルヴァ書房 | 2019 |
| サッセン,S. 森田桐郎 他訳 | 労働と資本の国際移動ー世界都市と移民労働者 | 岩波書店 | 1992 |
| ソコロフ,N.J. 江原由美子 他訳 | お金と愛情の間ーマルクス主義フェミニズムの展開 | 勁草書房 | 1987 |
| ダラ・コスタ, M. 伊田久美子／伊藤公雄訳 | 家事労働に賃金をーフェミニズムの新たな展望 | インパクト出版会 | 1986 |
| 筒井淳也 | 仕事と家族ー日本はなぜ働きづらく、産みにくいのか | 中公新書 | 2015 |
| 中里英樹 | 男性育休の社会学 | さいはて社 | 2023 |
| 牟田和恵 | 部長、その恋愛はセクハラです | 集英社新書 | 2013 |
| ケア | | | |
| 上野千鶴子 | ケアの社会学：当事者主権の福祉社会へ | 太田出版 | 2011 |

| | | | |
|---------------------------|-------------------------------------|---------------|------|
| トロント,J.C. 岡野八代訳著 | ケアするのは誰か？—新しい民主主義のかたちへ | 白澤社 | 2020 |
| 相馬直子／山下順子 | ひとりやらない育児・介護のダブルケア | ポプラ新書 | 2020 |
| 宮坂靖子編著 | ケアと家族愛を問う：日本・中国・デンマークの国際比較 | 青土社 | 2022 |
| 老いる | | | |
| 上野千鶴子 | おひとりさまの老後 | 法研 | 2007 |
| 最近の論点 | | | |
| 生物多様性 | | | |
| 浅間 茂 | 虫や鳥が見ている世界—紫外線写真が明かす生存戦略 | 中公新書 | 2019 |
| 上田恵介監修 | ネオポケット 鳥 | 小学館 | 2021 |
| さとうち 藍 | 自然図鑑 | 福音館書店 | 1986 |
| 自然史学会連合 | 理科好きな子に育つ ふしぎのお話365 | 誠文堂新光社 | 2015 |
| 鈴木 庸夫ら | 種子と果実 | 誠文堂新光社 | 2018 |
| 田下昌志ら | Theむし昆虫図鑑4200 | 信濃毎日新聞社 | 2023 |
| 多田多恵子 | 原寸で楽しむ身近な木の実・タネ | 実業之日本社 | 2017 |
| トリュー,L. 梅田智世訳 | わたしは哺乳類です 母乳から知能まで、進化の鍵はなにか | インターシフト | 2019 |
| 林将之 | 秋の樹木図鑑 | 廣済堂出版 | 2017 |
| 福田晴夫ら | 増補改訂第2版 昆虫の図鑑 採集と標本の作り方 | 南方新社 | 2020 |
| 諸岡 範澄 | くらべてわかる 蛾 | 山と溪谷社 | 2023 |
| 尾園暁 | くらべてわかる トンボ | 山と溪谷社 | 2023 |
| 永幡 嘉之 | くらべてわかる 昆虫 | 山と溪谷社 | 2017 |
| 斉藤 憲治 | くらべてわかる 淡水魚 | 山と溪谷社 | 2015 |
| 町田 龍一郎ら | くらべてわかる 甲虫 | 山と溪谷社 | 2019 |
| 林将之 | くらべてわかる 木の葉っぱ | 山と溪谷社 | 2017 |
| 松橋 利光 | くらべてわかる カエル | 山と溪谷社 | 2021 |
| 叶内 拓哉 | くらべてわかる 野鳥 | 山と溪谷社 | 2015 |
| 林将之 | 昆虫の食草・食樹ハンドブック | 文一総合出版 | 2007 |
| 森昭彦 | 食べられる草ハンドブック | 自由国民社 | 2021 |
| 刈谷敏三 | 新訂 水生生物ハンドブック | 文一総合出版 | 2010 |
| 性別を自然科学から読み解く | | | |
| 麻生一枝 | 科学でわかる男と女になるしくみ—ヒトの性は、性染色体だけでは決まらない | ソフトバンククリエイティブ | 2011 |
| ジョエル,D./ヴィハンスキ,L.他 鍛原多恵子訳 | ジェンダーと脳—性別を超える脳の多様性 | 紀伊國屋書店 | 2021 |
| カプラン,P.J./カプラン,J.B. 森永康子訳 | 認知や行動に性差はあるのか：科学的研究を批判的に読み解く | 北大路書房 | 2010 |
| 諸橋憲一郎 | オスとは何で、メスとは何か？—「性スペクトラム」という最前線 | NHK出版新書 | 2022 |
| ノーベル経済学賞 | | | |
| 牧野百恵 | ジェンダー格差—実証経済学は何を語るか(中公新書 2768) | 中央公論新社 | 2023 |
| ゴールドフィン,C. 鹿田昌美訳 | なぜ男女の賃金に格差があるのか：女性の生き方の経済学 | 慶應義塾大学出版会 | 2023 |
| ジェンダーと交差する問題系 | | | |
| スコット,A./グラットン,L. 池村千秋訳 | LIFE SHIFT—100年時代の人生戦略 | 東洋経済新報社 | 2016 |
| 谷本奈穂 | 美容整形と化粧の社会学—プラスチックな身体 | 新曜社 | 2008 |
| 中村桃子 | 翻訳がつくる日本語—ヒロインは「女ことば」を話し続ける | 白澤社 | 2013 |
| 西倉実季／堀田義太郎 | ルッキズムを考える 現代思想11 2021 Vol.49-13 | 青土社 | 2021 |

| おすすめURL | | |
|------------------|---------------------------|---|
| 作成者 | タイトル | URL |
| ウィルあいち | ウィルあいち(愛知県女性総合センター) | https://www.will.pref.aichi.jp/ |
| 安達知子 他／厚労科研事業 | 高校生向け性教育パンフレット/つながるBOOK | https://www.jfpa.or.jp/kazokutokenko/topics/001123.html |
| イーブルなごや | イーブルなごや(名古屋市男女平等参画推進センター) | https://e-able-nagoya.jp/?doing_wp_cron=1728447549.3638849258422851562500 |
| ウィメンズアクションネットワーク | ウィメンズアクションネットワーク(WAN) | https://wan.or.jp/ |
| SEXOLOGY製作委員会 | SEXOLOGY(性を学ぶセクソロジー) | https://sexology.life |

| | | |
|----------------------------|-----------------------------------|---|
| SEXOLOGY製作委員会 | SEXOLOGY 世界基準の「性の知識」をチェックする10問テスト | https://sexology.life/quiz/ |
| 株式会社ヘルスアンドライツ | 生理のトリセツ | https://periodmanual.com |
| 国立女性教育会館 | 独立行政法人 国立女性教育会館 | https://www.nwec.go.jp/ |
| TENGAヘルスケア | 知ろう、話そう、性のモヤモヤ「セシル」 | https://seicil.com |
| 名古屋大学ジェンダー・リサーチ・ライブラリ(GRL) | 名古屋大学ジェンダー・リサーチ・ライブラリ(GRL) | https://www.grl.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/ |

(2024年10月9日最終閲覧)